

## 1 年生 部落問題学習（その1）

1 年生では「世の中科」で部落差別問題学習を始めました。その題材として取り上げたのが「狭山事件」です。この事件から部落差別がどのようなものなのかを知り、その差別の中で石川一雄さんという人がどのように生きてきたのかを知り、石川さんはなぜ学ぶのか、石川さんにとっての学びとは何だったのかを勉強していきます。そして自分たちはどのように生きていくのか、自分にとっての学びとは何かを考えていきます。また、石川さんが様々な人と関わりながら裁判で闘ってきた姿から、自分たちは友達とどのように関わるのかについても考える機会になればいいと思っています。



11月9日（木）

1 時間目は、そもそも「狭山事件」とはどのような事件なのかについて授業をしました。埼玉県狭山市で起こった女子高生誘拐事件で「石川さんはなぜ逮捕されたのか」を考えていくために、事件が起こってから、石川さんが逮捕されるまでを 1 時間目では学習しました。当時の警察の捜査や、マスコミの報道を見ながら、世の中で部落に対する「差別意識」が当たり前のようにあったことを確認しました。「なんで石川さんが逮捕されたん？」「おかしいよな！」といろいろな場面で前のめりになり声を上げながら授業に入り込んでいました。授業が終わってからも、「石川さんどーなったんやろ？」「早く授業してほしい！」と狭山事件についてももっと知りたいと周り対話しながら次の授業に意欲的でした。

（文責：新子）

